カーサ通信 ***** 2024年2月号

(株)ソワサポート



代表 浅原の挨拶

2024 年もあっという間に I カ月が過ぎました。子どもたちも日々成長し、とても嬉しく思います。 重症化することは少なくなったようですが、まだまだコロナやインフルエンザなどの感染症が流行して います。引き続き感染症対策に取り組みながら過ごしていきたいと思います。

ちょうど昨年の今頃、小学校で、支援学級の子どもたちのことを交流学級の子どもたちに伝える機会 をいただきました。対象は小学|年生で、まだまだ幼さが残る可愛いくて、思ったことを素直に口に出 してくれる子どもたちでした。日頃から「どうして自分たちは頑張っているのに頑張らないの?」「な んで、すぐ怒って叩いてくるの?」「遊んでいるときに、自分が負けたら、なんで急に怒り出すの?」 など、いろいろなことが不思議で、先生に質問をしていたそうです。子どもたちがいろいろなことを尋 ねてくれることはとてもいいことで、支援学級の子どもたちのことを理解してもらうチャンスです。I 年生にどうやって伝えようかと考えた結果、客観的に受け取れるものにしよう。内容は、なんとなく似 た感じの友達が近くにいて「そうそう!こんなことある!」と思えるようなものにしようと決めまし た。そして、前もって先生に支援学級の子どもたちのことをお聞きして作ったアニメーションをみなが ら、お話をさせていただきました。最初に「みんな誰だって失敗はする」という内容、次にいろいろな 人の苦手なことやどうしてそんなことをしてしまうのかについて、「自分の思っていることがうまく伝 えられないとイライラしてしまうことがあるかもしれない」「負けることが大嫌いで、負けてもだいじ ょうぶと思うことが難しい人がいる」「負けてもだいじょうぶって思えたらいいのにね」「人が嫌な気 持ちになることを自分で止めれない人がいる」「頑張りたくても頑張れない人がいる」「少しずつ、少 しずつ頑張れるように応援したいね」などのアニメーションを観てもらいました。最後に「人はみん な、一人ひとり違う」「違っているから、もっとその人のことを知りたくなる」「みなさんに、まわり の人の良いところや好きなところを探す名人になってほしい」そして「自分の好きな気持ち、ありがと うの気持ち、感謝の気持ちを恥ずかしがらずにいろいろな人に伝えてほしい」とアニメーションで伝え ました。大人に教え込まれるのではなく、自分で感じたことを大切にしてもらいたいという思いでアニ メーションを使いました。子どもたちにどんな風に伝わったか、ほんとうのところはわかりませんが、 子どもたち一人ひとりの顔を見ていると、こんなことを続けていくことが私たちの役目だと強く感じま した。あれから1年、子どもたちに継続したお話ができていない現状があります。これからもこのよう な機会を作っていけるよういろいろな所で理解・啓発活動を進めていきたいと思います。

避難訓練のお知らせ

3月25日(月)に地震を想定した 避難訓練を予定しています。

避難場所(明石高専)への移動も行います。 詳細は改めてメールにてお知らせいたします。

保護者会のお知らせ

3月の保護者会の日程は

3月 | 3日(水) | 10:30~| |:30です。

場所:播磨町福祉会館 | 階



コッコロ土曜デイのお知らせ3月の土曜デイは3月2日・3月|6日です









カーサプレイルームスナップ集

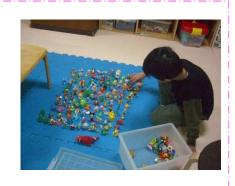
紙飛行機を作っていました♀

自分たちで作った紙飛行機を飛ばして遊びました ⑥ 色んな折り方が本に載っていて、自分たちで「この飛行機にする」と決めて、スタッフに手伝ってもらいながら、頑張って折って飛ばしました♪
よく飛ぶ折り方を研究して、空気抵抗を少なくさせるような折り方やよく飛ぶ子に「どうやって折ったん?」と聞いて自分専用の最強の



たくさんのポケモン人形があります 〇 保育園の子たちにも人気ですが、小学生の子たちはコミュから使っていたこともあり、ポケモン落とし(消しゴム落としの要領で)をしたり、ブロック遊びに使ったりと色々な遊びを考えて楽しんでいます 〇

保育園の子たちも遊び方をたくさん教えてくれています♪



小学生のお兄さんが、保育園の子たちとよく遊んでくれています ⊜ 「お月さまお星さま」というバランスゲームで一緒に遊びましたが 上手に重ねながら、でも保育園の子たちを勝たせるように遊んで くれています ⊜

負けてくれる(!?)お兄ちゃんたちがみんな大好きです��

